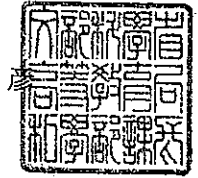


25高私助第25号
26商ガ安第1号
平成26年2月3日

各都道府県私立学校主管課長
文部科学大臣所轄学校法人施設担当部課長 殿

文部科学省高等教育局私学部私学助成課長

矢野和



(印影印刷)

経済産業省商務流通保安グループガス安全室長

大本治



(印影印刷)

私立学校施設における埋設ガス管等の耐震化の推進について（依頼）

学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であり、災害時の避難所としても機能することから、その安全確保のため、耐震化の早期完了を目指すとともに、長寿命化等に着実に取り組むなど、日頃から災害に対して強い学校づくりに取り組むことが重要です。

しかしながら、学校敷地内に埋設されている古いガス管は、鋼製のものが大部分を占めているため、年数の経過や土壌環境等に伴い腐食が進行していると推測しています。このような腐食したガス管が強い地震を受けた場合、継手部分「ねじ継手」が緩んだり、その他の腐食した部分が折れたりして、火災や爆発が生じる恐れがあります。ガス事業者からの報告によりますと、多くの学校関係者の御理解と御協力によって、数多くの埋設ガス管の改修が実施される一方で、現時点にあっても、全国で600近くの私立学校に古い埋設ガス管が残存している可能性があり、いまだガス漏えいリスクを回避できない状況にあります。

現在、政府は、昨年12月に閣議決定した国土強靱化政策大綱に基づき、府省横断的に国土の強靱化に向けた取組を総合的かつ強力に推進しています。今後、脆弱性評価を踏まえた基本計画の策定・閣議決定、地方公共団体や民間とも連携した地域計画の策定等を進める予定です。

各私立学校関係者におかれましては、災害に強い学校づくりを進めていただくため、「私立学校施設整備費補助金」等により、校舎等の耐震化を推進されるとともに、平成25年度補正予算案の国会成立後には、昨年12月に閣議決定された同予算案における経済産業省「ガス導管劣化緊急対策事業」を活用し、鋼製のガス管をポリエチレン管等のガス管に更新し、埋設ガス管の耐震化を推進して頂くようお願いします。

また、都道府県私立学校主管課におかれては、以上のことについて、所轄の私立学校に周知を図られますようお願いいたします。

【本件照会先】

○文部科学省 代表番号 03-5253-4111

大学等 : 高等教育局私学部私学助成課助成二係 (内線 2774)

高校等 : 高等教育局私学部私学助成課総括係 (内線 2544,2579)

幼稚園 : 初等中等教育局幼児教育課振興係 (内線 3138,2374)

専修学校 : 生涯局生涯学習推進課専修学校教育振興室専修学校二係 (内線 3468,2938)

○経済産業省 直通番号 03-3501-4032

商務流通保安グループガス安全室